

芭蕉翁記念館

芭蕉翁記念館は 1959 年に建てられた。実業家の神部万之介（1893-1972）によって資金提供され、詩人の遺徳に捧げられた。このブルータリスト構造は、打放しコンクリート構造と幾何学的な形を特徴とするスタイルで、芭蕉（1644～1694）の肉筆の手紙と俳句の大規模なコレクションを収納している。彼の遺言もここに保存されており、彼の日本の旅の詳細な地図も展示されている。連歌と俳諧の歴史に関する資料は貸出し可能で、博物館には約 20 種に及ぶ項目が定期的に展示されている。庭には、芭蕉の俳句の中で詠まれているいくつかの花も植えられている。